

# 六甲アイランド

地域広報紙

2014年8月14日(木)発行  
自治会報 第64号

発行人 前野 正美  
編集者 自治会 広報部  
発行者 六甲アイランドCITY自治会  
神戸市東灘区向洋町中2丁目8番地  
TEL (078) 857-7375 FAX (078) 857-7376  
H.P= <http://www.ric.jp/>  
Mail= [ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp](mailto:ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp)

印刷 株甲南堂印刷

私達が住む六甲アイランドの南沖に、近畿2府4県168市町村等が出資する大阪湾広域臨海環境整備センター（略称・大阪湾フエニックスセンター。以下、センター）が運営する神戸沖埋立処分場（以下、処分場）があります。この処分場においては、平成13年度より、各自治体（113事業場）から排出された一般廃棄物と民間事業者（31事業場）から排出された産業廃棄物（いずれもばいじんを含む焼却灰）が累計約1670万トン搬入・埋立処分されています。

センターでは、適正な廃棄物を受け入れるため全ての廃棄物について事前審査を行うとともに、陸側の尼崎港や神戸市摩耶の岸壁など5ヶ所に設置された“基地”と呼ばれる搬入施設で、各排出元から運び込まれた廃棄物について種々の受入検査を行った後、海上輸送（バージ船等）により処分場に搬送されます。処分場では、持ち込まれた廃棄物を陸揚げ後、ベルトコンベアで埋立エリアに搬送し、埋め立てた後に覆土を行うなどの安定化処理を実施しています。

またセンターでは、環境保全の観点から、受付時の目視検査・化学分析、積込時の展開検査・粉じん拡散防止・集じんの他、処分場での放流水の水処理などをを行い、

こうした中、去る6月11日、滋賀県高島市が平成19年度から平成25年度までの間に、ダイオキシン類の受入基準値を超えた廃棄物、合計613トンを違法搬入していたという事実（以下、本事実）が新聞報道されました。センターが高島市からの本事実報告を受けた後、直ちに高島市に対し搬入停止処分としたこと、高島市では当該廃棄物を排出したごみ焼却施設等に関する調査の実施や第三者調査委員会を設置したことなどは、その後の新聞報道の通りです。

当自治会では、センターおよび神戸市環境局（処分場施設の設置許可・監視などセンターを指導する立場にある）から本事実発生の報せを受けた後、「六甲アイランドシティにおける安全・安心な住環境の維持」という自治会の基本目的の観点から、6月17日にセンター・神戸市両者に対して、自治会長名の「違法搬入に関する要望・意見書」を提出しました。

6月・7月の月例役員会においては、センター・神戸市両者から次のような報告・説明を受けるとともに、自治会からの要望・意見

廃棄物に対する各種の排出基準及び環境基準を遵守する体制を整えました。

こうした中、去る6月11日、滋賀県高島市が平成19年度から平成25年度までの間に、ダイオキシン類の受入基準値を超えた廃棄物、合計613トンを違法搬入していたという事実（以下、本事実）が新聞報道されました。センターが高島市からの本事実報告を受けた後、直ちに高島市に対し搬入停止処分としたこと、高島市では当該廃棄物を排出したごみ焼却施設等に関する調査の実施や第三者調査委員会を設置したことなどは、その後の新聞報道の通りです。

に対する現況の確認などを行いました。

処分場周辺におけるダイオキシン類濃度は、放流水、海域水質、大気質いずれとも平成14年度以降現在に至るまで継続して、排出基準値あるいは環境基準値を大幅に下回っており、六甲アイランドシティの環境の安全性は確保されていると判断されます。しかし、神戸市

## 基準値超過廃棄物の違法搬入問題について

環境局説明にもありますが、自治会としても、六甲アイランドシティ住民の安心が確保されるには、当自治会が強く要請した六甲アイランドシティ内のダイオキシン濃度の実測を速やかに実施することが必要と考え、引き続きセンター・神戸市両者との折衝を進めました。

この結果、8月18日～25日の間に、島内で土壤、海域水質および底質と大気質のダイオキシン類濃度の測定調査が実施されましたが決定され、調査結果が得られ次第、速やかに当自治会に報告されることになりました。

### 【6月21日役員会】

#### センターからの報告・説明内容

- 廃棄物の発生～処分場までの搬送（処分場における処理方法等、廃棄物処理の流れ）
- 本事実を踏まえた対応（当該廃棄物埋立区域の覆土、他自治体搬入廃棄物の状況調査、立入検査の強化要請、自主検査・立入検査の強化、抜き打ち検査の実施など）
- 平成19～25年度および直近のダイオキシン類の環境調査結果（放流水・海域水質・大気質）

### 【7月26日役員会】

#### センターからの報告・説明内容

- 高島市基準値超過廃棄物に係る埋立表層土壤ダイオキシン濃度の調査結果
- 再発防止に向けた取り組み（①排出者による自主分析の追加実施、②センター搬入時抜き取り検査強化、③他府県と連携した立入調査、④ダイオキシン類監視専任官等の設置、⑤「廃棄物受入に関する検討委員会」設置による適正受入強化など）
- 神戸市環境局からの報告・説明内容
- 6月に追加調査した放流水・海域水質の調査結果
- 今後の対応（①採水調査の頻度強化（1→4回／年）、②センターの再発防止取組みに係る指導）
- 六甲アイランドシティ内のダイオキシン濃度実測（土壤・水質・大気）実施

第27回RICサマーライブカーニバル（六甲アイランド夏祭り）は、8月30日（土曜日）開催!! 詳細は、ウラ面をご覧ください



第27回

# RICサマーアイブニングカーニバル開催

## 夏本番、夏祭り開催

いよいよ夏本番、六甲アイランドの最大イベント『サマーイブニングカーニバル(夏祭り)』が、8月30日(土)に開催されます。

各地から六甲アイランドに移り住んだ人々が、このまちを「ふるさと」として自分たちのまちにしていこうと始まった「手作り夏祭り」、この祭りが受け継がれ、今年で27回目を迎えます。

子供たちがみこしを飾り付け、お父さん、お母さんたちがゲームコーナーを運営し、会場警備・清扫も住民が自主的に行う六甲アイランドならではの「手作り夏祭り」なのです。

住民や関係者の皆さん方と一緒に夏祭りを創りあげる喜びを分かち合い、子供たちが六甲アイランドを誇れる故郷と思ってもらえるような大きなイベントであり続けたいと考えています。

今年も、「子どもみこしパレード」がオーブニングを飾り、ゲームコーナー、ステージ、夜店の屋台などを用意しますので、老若男女、国際色豊かな光景が繰り広げられるお祭りをご一緒に創りあげましょう。

お祭りの主役はこのまちを愛する住民の一人一人、祭りの運営を支えるのも住民ボランティアなのです。たくさんの方のご参加とご協力を待ちしています。

## 新しい取り組み

昨年までの夏祭り会場は、アイランドセンター駅の北側と南側に分かれ、いずれも屋外会場でした。

今年の会場は、センターライン北側に代わってファッショントマート屋内会場となります。(詳細は下面の会場配置図をご参照ください)

近年は夏場の天気が不安定であり、祭りの開催に際しても雨対策が避けられない状況です。

今回、ファッショントマートを使わせていただくことで少し位の雨天でも部分開催が可能となります。

も、9月6日(土)に子供みこしとゲームコーナーを中心とする『子供みこし祭り(仮称)』を開催することを検討を進めております。

※プログラムなどの詳細は例年通り

全戸配布されますRICサマーアイブニングカーニバルのチラシをご覧ください。

## 安全に楽しむために

- 会場周辺はバーベキュー禁止です。
- 会場内は歩行者専用道路になつておる場所でお願いします。
- 会場内は禁煙です。喫煙は灰皿のあります。
- 自転車も乗り入れ禁止です。
- 会場内は大変混み合います。お子様からは目を離されないようお願いします。

お問い合わせ先  
六甲アイランドCITY自治会  
(RICふれあい会館)  
広報部 井藤まで  
TEL 857-7375 FAX 857-7376  
E-MAIL ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp

## 編集後記

暗いニュースが続き、台風の影響で天候も安定しないまま8月に突入しましたが、今年のサマーイブニングカーニバルは晴天になり明るく吹き飛ばせるようになることを祈りましょう。



## 第27回RICサマーイブニングカーニバル 全体会場MAP

